

2010 年度第 7 回執行理事会議事録

期 日：2010 年 12 月 4 日（土） 11:00～12:00

場 所：科学技術館 第一会議室（事務棟 6 階）（東京都千代田区北の丸公園 2-1）

出席者：宮下会長 渡部副会長 藤本常務理事 齋藤副常務理事 井龍 石渡 小嶋 坂口 高木 内藤 中井 平田 藤林 星 向山 山口 各理事，

小山内議長 竹内副議長（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：久田副会長 西理事

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 16 名，委任状 2 名，合計 18 名の出席で執行理事会の開催は成立。

I 審議事項（関連する報告事項と合わせて説明）

1. 前回議事録については承認した。

2. 電子書籍の編集・出版・販売について（坂口理事）

理事会で直接審議することとした。

3. 地質の日事業について（藤林理事）

・全国ポスター費（総額）の分担が発生する可能性がある（1-2 万）。

・2011 年度日本地質学会本部事業について

神奈川県立生命の星・地球博物館と共催で行う方向で準備する。

4. 理事会議事進行について

・関東支部伊藤支部長より，本日の理事会に関東支部幹事長山本高司会員の出席と水戸大会についての発言があるとの連絡があった。議長承諾。

・脇田理事からの理事会審議事項提案について

地質用語標準に関する地質学会の対応について 議長承諾，議案とする。関連して，八尾会員からの問い合わせに対する回答を検討

・今後，理事からの議案提案は理事会議長に直接提出することとする。

II 報告事項

(1) 運営財政部会：総務委員会

<外部の賞，その他の募集>

1) 三菱財団自然科学研究助成の募集，応募期間 2011/1/5-2/2 ←News, geo-flash, HP 掲載

2) 山田科学振興財団研究援助候補の推薦依頼，地質学会からの推薦数 3 件，援助対象期間 2011/9-2013/3，募集 10/1-2011/3/31 ←News, geo-flash, HP 掲載

3) 東京大学地球惑星科学専攻，准教授公募，1/7 〆切 → HP, geo-flash 掲載

4) 広島大地球惑星システム学専攻，准教授公募，1/21 〆切 → HP, geo-flash 掲載

<共催・後援その他依頼・要請等>

- 1) 第5回ジオパーク国際ユネスコ会議組織委員会の顧問就任の依頼が会長にあり、承諾した。
- 2) 第8回JSEC(後援)の最終審査および表彰式・交流会(12月11日,12日)への案内状 → 久田副会長が表彰式・交流会に出席する予定。
- 3) 原子力総合シンポジウム2011運営委員会(原子力学会内)より同シンポジウムの共催依頼ならびに運営委員1名の推薦,共催金1口5000円負担 → 共催は承諾。運営委員は後日高橋正樹の了解を得て推薦した。
- 4) 学術会議より22期(2011/10-2014/9)会員および連携会員の候補者に関する情報提供依頼,1団体6名以内うち2名は女性。候補者情報該当者および外部への公表不可 → 提供期間 2011/1/11-28

<その他>

- 1) 地理学連携機構(代表岡部篤行)が学術会議協力学術研究団体への加盟団体として認定。
<会員の動静>
- 1) 今月の入会者(2名)
正〔学部割〕会員(2名) 寺司周平,上芝卓也
- 2) 今月の退会・逝去 なし
- 3) 11月末日会員数
賛 28 名誉 75 正会員 4143(内訳:正 3919,院割 200,学部割 24) 合計 4246(昨年比 -115)
- 4) 2010年度末(2011/3月末)退会予定者(36名,2社)・除籍予定者(108名)

(2) 学術研究部会:行事委員会

1) 水戸大会

・共催申請書について茨城大学と調整中。

・水戸大会の正式名称:

日本地質学会第118年学術大会・日本鉱物科学会2011年年会合同学術大会

・4件のシンポジウムを予定(本大会は一般公募なし)。

- テーマ未定(地質学会・鉱物科学会の双方に関連するもの,石渡理事に検討依頼)

- 人類の危機を救う科学—地学は何ができるか?—(仮題,水戸LOC提案)

- 関東盆地の地質・地殻構造とその形成史(仮題,関東支部提案)

- テーマ未定(鉱物科学会が提案予定)

・トピックセッションは12件程度を見込む。すでに水戸LOCから1件,関東支部から2件の提案があり,鉱物科学会からも2件提案される予定。これら5件は採択とし,残り7件程度を一般公募する(ニュース誌12月号に募集記事掲載予定)。

・招待講演について鉱物科学会と協議し,水戸大会では次のようにすることにした。

- トピックセッション「非会員」の招待講演は,原則としてセッション半日(3時間)につき

1 件のみとする。どうしても非会員招待を半日 2 件必要とする場合は、本大会に限って認めることがあり、応募時にその理由を明記してもらおう(行事委員会で一件審査)。すでに頼んでしまっているから、のような非学術的な理由は認めない。

- トピックセッション「会員」の招待講演も、非会員の場合と同様、原則としてセッション半日(3 時間)につき 1 件のみとする。どうしても会員招待を半日 2 件以上必要とする場合は応募時に希望を出してもらおう(行事委員会で一件審査)。

- 本大会では、招待講演者には両学会の行事委員長名で招待講演依頼を発行する。

- シンポジウムの招待講演については鉱物科学会と協議中。

・見学旅行は、準備委員会から提案された 10 コース案を行事委員会で検討し、承認。これらは、理事会報告事項だが、現地関係については LOC が、プログラムについては行事委員会が責任を持って担当するというので、理事会で確認しておくことにする。

2) 2012 年大会について：近畿支部からの報告

大会会場：大阪府立大学

市民講演会等会場：大阪市立自然史博物館を予定

日程：2012 年 9 月 15 日(土)～17 日(祝)

大会実行委員会 委員長：前川寛和，副委員長：宮田隆夫，庶務：石井和彦，

庶務補佐：三田村宗樹 見学旅行案内書編集委員長：竹村厚司，

見学旅行庶務：奥平敬元，市民講演会(地質情報展)：川端清司

(3) 学術研究部会：国際交流委員会(石渡)

・ IUGS の傘下、国際地質学史委員会 INHIGEO 2011 年日本開催(2011/8/2-10)について、Barry Cooper 事務局長から、日本開催への支援要請状が届いた。

・ 国際関係実績報告一覧(2009 年下半期以降の News 誌掲載報告記事より)

(4) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会(小嶋編集委員長)

1. 編集状況報告(11 月 30 日現在)。

・ 2010 年度投稿論文 総数 68 編 [総説 22 (和文 22)，論説 31 (和文 29・英文 2)，報告 4 (和文 4)，短報 9 (和文 9) ノート 2 (和文 1・英文 1)] 口絵 12 (和文 7 英文 5)

査読中 43 編 受理済み 24 編(うち通常号 11 特集号 13)

・ 116 巻 12 月号：総説 1・論説 3・短報 1・ノート 1・口絵 1(約 60 ページ 校正中)

2. J-STAGE3 移行に関わる新規投稿査読システムについて

JST の提示する 2 種の商用システムについて、各説明会・デモ等に出向き、いずれかの選択を検討中。1 月 10 日までに JST に回答。

3. 編集事務の外部委託

117 巻 1 月号からの編集事務の一部外部委託のため、事務局・業者との打ち合わせなど準備を開始する。

(5) 編集出版部会：アイランドアーク編集委員会（井龍編集委員長）

・編集状況の報告

(6) 社会貢献部会（藤林）

1. 「地質の日」事業推進委員会（藤林・平田）

・活動資金調達方法の1つとして、協賛企業に寄付を募り、ポスターに企業名を入れる方向で、募集要項準備中。

(7) オリンピック支援委員会（久田）

・12月15日に第1回の会合をもつ予定

(8) 支部長連絡会議

・11月の執行理事会の検討を受けて、支部規則の統一について支部に要請したが、下記の支部から規則の改正および改正案の報告を受けた。

北海道支部(改正案)、近畿支部（改正）

・近畿支部 2011-2012年度の支部事務局体制

支部長：宮田隆夫

代表幹事：奥平敬元 幹事：大串健一、此松昌彦、小林文夫、里口保文、竹村静夫、田中里志、三田村宗樹、和田穰隆

以上